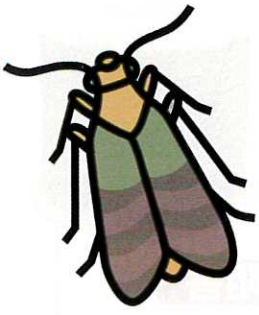


ノシメマダラメイガ交尾阻害剤



パナライン®



適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用場所	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
貯蔵穀物等	倉庫	交尾阻害	ノシメマダラメイガ	100m/ 1000㎡	対象害虫発生 初期から終期	倉庫内の壁際や 柱に張り渡す

パナラインの特長

- ※殺虫成分を含んでいません。
- ※数世代に渡り、交尾を阻害することで、次第に次世代の発生数を抑制します。
- ※有機農産物、特別栽培農産物の保管倉庫でも、ご使用頂けます。

注意事項

- ※ラベルをよく読む。記載以外には使用しない。小児の手の届く所には置かない。
- ※火気を避け、直射日光が当たらない冷暗所（5℃以下）に密封をして保管すること。
- ※食品と区別して、保管すること。
- ※本剤の有効期間は製造後、1年半です。

販売店・代理店

総販売元

Iwatani Group

国際衛生株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-14-7

TEL:03-3667-6711



成分

(Z,E)-9,12-テトラデカジニエル=アセタート	53.7%
(Z)-9-テトラデセン-1-オール	26.7%
安定剤等	19.6%

性状

淡黄色透明油状液体
第三石油類・危険等級Ⅲ・火気厳禁

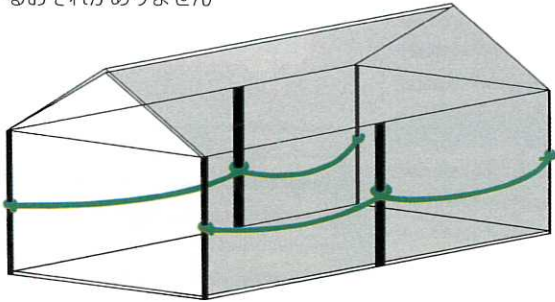


パナライン製品→

使用方法

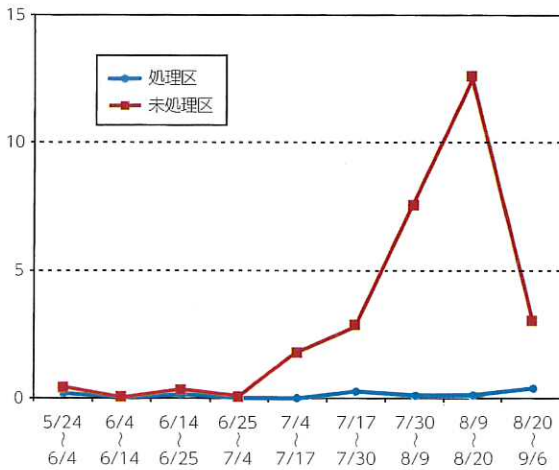
1000㎡あたりに本剤100m（高さ5m程度の場合）を柱・荷摺木・パイプ等に巻きつける。または、壁際に固定する。（天井が高い場合、設置量を多くする）。本剤の有効期間は開封後約3カ月です。

※有効成分が樹脂基材に封入されているため、食品が直接有効成分に暴露するおそれはありません



防除効果確認試験

フェロモントラップへのノシメダラメイガ雄成虫の捕獲数の推移(頭/トラップ/日)



交信かく乱作用による交尾阻害

ノシメダラメイガはフェロモンでコミュニケーションをとります。雄は性フェロモンを目印にして、雌に近寄り交尾をしています。交信かく乱とは、建物全体に性フェロモンを広げることによって、雄が雌を見つけることができないように、邪魔をすることです。雌を見つけられなくなった雄は交尾できず、子孫を残せなくなります（交尾阻害）。



使用上の注意

- 本剤はノシメダラメイガにのみ有効なので使用する前に害虫の種類を確認すること
- 本剤はノシメダラメイガ成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としているので、対象害虫の成虫発生初期から終期まで連続的に使用することが望ましい
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて適当な薬剤を併用することが望ましい
- 本剤は倉庫内の柱等を利用し、作業に支障のない位置に設置すること
- 本剤を処理する場合には倉庫全体に処理すること
- 設置の際、面積に応じてポリエチレンチューブを切断する場合は、必ず20cm間隔でヒートシールされている部分を切断すること
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散するので、必ず使用直前に開封し、なるべく使い切ること。やむを得ず残った場合には密封し、5℃以下で冷蔵保管すること
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい
- 紛失防止のため、必ず柱等に固定して設置する
- 機械、サイロ等の内部には設置しない